

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.74人の報告があり、前週の約1.4倍に増加しました。

2 インフルエンザ

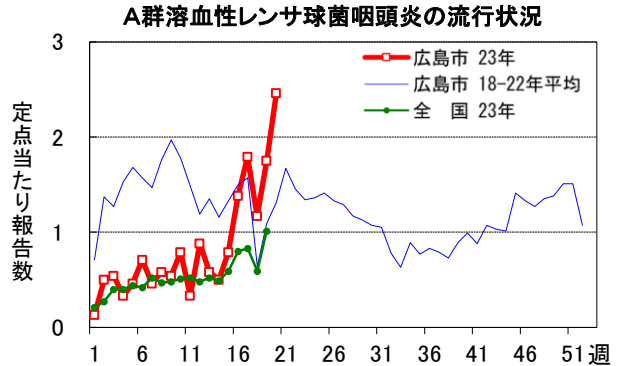
定点当たり4.71人の報告があり、再び増加傾向となっています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が5件報告されています。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第20週 A型:27人、B型:1人

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり2.46人の報告があり、増加しています。

その他にも、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎などが4月下旬から増加しています。新型コロナウイルス感染症の流行以降、多くの感染症の流行が抑えられていましたが、以前の水準に戻りつつあり、注意が必要です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
インフル	インフルエンザ	165	4.71	0.05	↗	小児科	ヘルパンギーナ	11	0.46	0.18			前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減	
	新型コロナ(COVID-19)	61	1.74		↗		流行性耳下腺炎	-	-	0.15				
小児科	RSウイルス感染症	46	1.92	0.33	↗	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-			前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	
	咽頭結膜熱	19	0.79	0.51	↔		流行性角結膜炎	5	0.63	0.50				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	2.46	1.31	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			ほとんど増減なし	
	感染性胃腸炎	154	6.42	5.64	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	4	0.17	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03				
	手足口病	4	0.17	0.50			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03				
	伝染性紅斑	1	0.04	0.10			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11				
	突発性発しん	8	0.33	0.32										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	35
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

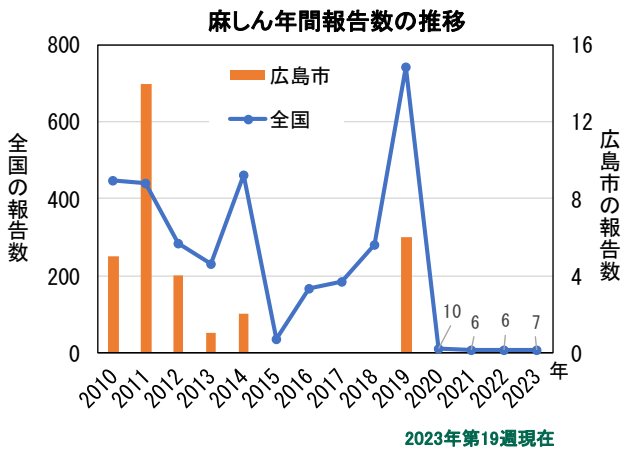
類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	49	80歳代・2人
4	E型肝炎	1	1	60歳代・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	1	10	60歳代
5	ウイルス性肝炎	1	2	50歳代・B型
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	80歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	2	60歳代
5	梅毒	9	102	10歳代・1人、30歳代・3人、40歳代・3人、50歳代・1人、60歳代・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
																						全国
報告数	第16週	212		9	15	33	110	2	2	-	12	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	
	第17週	176		28	14	43	108	1	-	2	10	3	-	2	1	1	-	-	-	-	-	
	第18週	110		21	13	28	81	2	2	-	5	4	-	-	8	-	-	-	-	-	1	
	第19週	129	43	34	20	42	114	6	1	-	8	7	-	-	9	1	-	-	-	-	-	
	第20週	165	61	46	19	59	154	4	4	1	8	11	-	-	1	5	-	-	-	-	-	
定点 当たり	第16週	5.89		0.38	0.63	1.38	4.58	0.08	0.08	-	0.50	-	-	-	0.38	-	-	-	-	-	0.14	
	第17週	4.89		1.17	0.58	1.79	4.50	0.04	-	0.08	0.42	0.13	-	0.25	0.13	0.14	-	-	-	-	-	
	第18週	3.14		0.88	0.54	1.17	3.38	0.08	0.08	-	0.21	0.17	-	-	1.00	-	-	-	-	-	0.14	
	第19週	3.69	1.23	1.42	0.83	1.75	4.75	0.25	0.04	-	0.33	0.29	-	-	1.13	0.14	-	-	-	-	-	
	第20週	4.71	1.74	1.92	0.79	2.46	6.42	0.17	0.17	0.04	0.33	0.46	-	-	0.13	0.63	-	-	-	-	-	
全国	第18週	1.70		0.99	0.28	0.59	3.48	0.07	0.16	0.01	0.25	0.28	0.03	0.01	0.23	0.02	0.03	0.02	-	-	0.01	
	第19週	1.36	2.63	1.04	0.46	1.01	5.28	0.11	0.18	0.02	0.36	0.33	0.04	0.02	0.39	0.01	0.01	0.04	-	-	0.01	

【参考】麻しん(はしか)について

麻しんは、約10日間の潜伏期間の後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状を呈します。その後、2~3日熱が続き、39℃以上の高熱と発疹が出現します。患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症し、先進国であっても1,000人に1人が死亡すると言われていています。感染力は極めて強く、感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染です。



2015年に、世界保健機関西太平洋地域事務局により、日本は麻しんの排除状態であると認定されました。その後は、海外で感染した患者とその患者から感染した事例のみを認める状態となっています。また、2020年以降は、新型コロナウイルス感染症の流行で海外との往来が減少し、患者も大きく減少していました。今後、海外との往来が活発になることで、再び患者が増加すると考えられています。

麻しんに注意しましょう！

- ・海外渡航前は、予防接種歴や感染歴を確認しましょう。
- ・海外から帰国後2週間程度は健康状態に注意し、麻しんが疑われる症状が見られた場合は、医療機関に電話連絡の上、公共交通機関の利用は避けて受診しましょう。
- ・子どもの定期予防接種は忘れずに受けましょう。



【参考】麻しんについて(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp